

1 特長

この時計は、ランニング・ジョギング・トレーニングなどに便利な以下の機能を備えたスポーツウォッチです。

- 時刻・カレンダー表示機能 ……常に「月、日、曜日」のカレンダー表示と現在時刻を表示します。
- フルオートカレンダー機能 ……うるう年の2月を含めて月末のカレンダー修正の必要がありません。(2006年1月1日～2050年12月31日)
- クロノグラフ機能 ……1/100秒単位、10時間計です。10時間経過すると0(ゼロ)に戻って計測を続けます。ランニング時でも操作しやすいように、液晶画面下の大きなボタンでラップタイム/スプリットタイムの計測ができます。ラップタイム/スプリットタイムは画面に一括表示されます。計測記録は、最大100本まで記憶しデータリコール表示で見ることができます。
- データリコール機能 ……クロノグラフ機能で計測した記録(ラップ番号、ラップタイムおよびスプリットタイム)を計測後はもちろん、計測中にも呼び出して見ることができます。
- ダブルリピートタイマー機能 ……2つのタイマーを連続して使用できます。それぞれ10秒から9時間59分59秒まで、1秒単位で設定可能です。2つのタイマーを1セットとして、繰り返し回数の指定(1～100回、または制限なし)も可能です。

- アラーム機能 ……セットした時刻に毎日鳴るデイリーアラームです。アラーム音の試し聴きも可能です。
- ボタン操作確認音設定機能 ……ボタン操作確認音について「鳴る/鳴らない」の設定が可能です。
- 電池寿命切れ予告機能 ……マークが点灯および点滅してお知らせします。
- 内部照明(EL)機能 ……内部照明により夜間や暗い場所でも表示が確認できます。専用のボタンを一回押すと約3秒間点灯します。ある物質に電圧をかけると光を放つ現象(エレクトロルミネッセンス=EL)を利用した発光方式を採用しています。

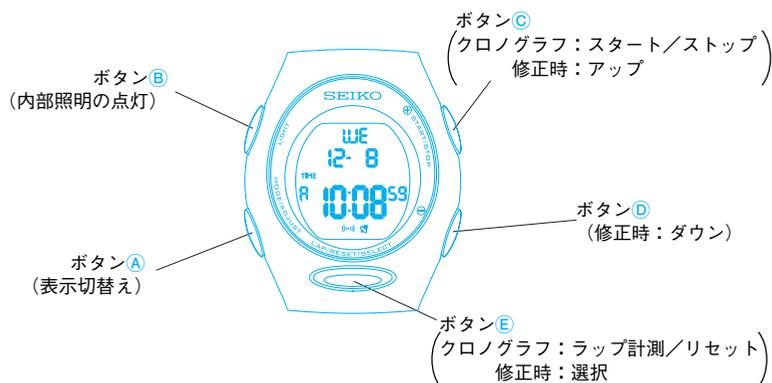
※エレクトロルミネッセンス(EL)の発光体は、発光時間の経過と共に徐々に輝度が低下する特性を持っています。また、点灯中はわずかに音がしますが、これは駆動用の昇圧回路が出す音で異常ではありません。ELについて詳しくは「9内部照明(EL)機能について」32ページをご参照ください。

2

3

2 ボタンの名称と表示の切替え

例「時刻・カレンダー表示」



※ () 内は各ボタンによる主な操作内容です。

4

●表示(機能)の切替え

ボタンAを押すごとに次の順序で表示が切替わります。



※ボタン操作確認音が鳴る設定の場合、表示を切替える際に短く音が鳴ります。その際「時刻・カレンダー表示」に切り替る際の音は他と異なります。

●内部照明(EL)の点灯

ボタンBを一回押すと内部照明(EL)が約3秒間点灯します。

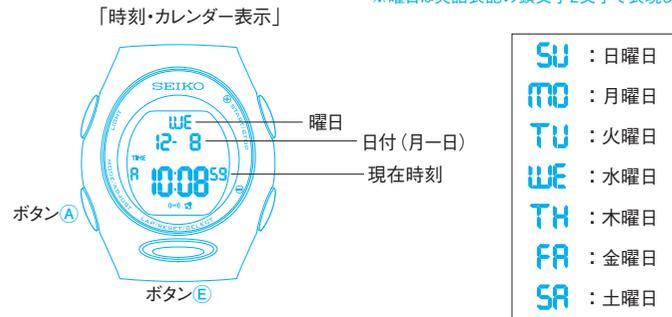
※内部照明が点灯中にアラーム音や操作確認音が鳴った場合、音が優先され内部照明は消えます。

5

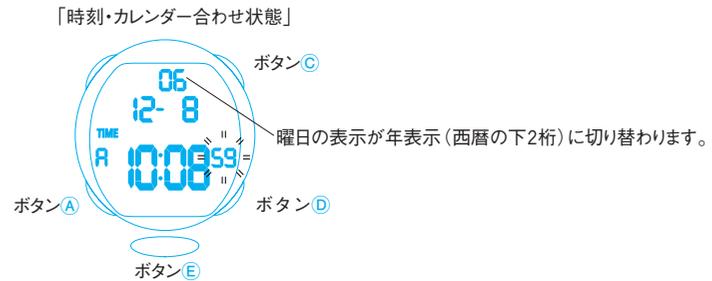
3 時刻とカレンダーの合わせかた

① ボタンAを押して、「時刻・カレンダー表示」にしてください。

※曜日は英語表記の頭文字2文字で表現します



② ボタンAを2~3秒間押し続けて、「時刻・カレンダー合わせ状態」にしてください。
秒表示が点滅します。



4 時刻とカレンダーの合わせかた (続き)

③ ボタンEを押して、合わせたい箇所を点滅させます。
ボタンEを押すたびに下記の順番で点滅箇所が変わります。



④ ボタンCまたはDを押して合わせます。ボタンCを1回押すごとに点滅している箇所の数字が1つつつ進みます。押し続けると早く進みます。ボタンDを1回押すごとに点滅している箇所が1つつつ戻ります。押し続けると早く戻ります。

※秒合わせ：「秒」が点滅しているとき時報に合わせてボタンCまたはDを押すと、00秒に合います。

「秒」が30~59までのときは「分」が1分繰り上がって00秒に合います。

※12時間制/24時間制表示の選択：「12H」または「24H」が点滅している状態でボタンCまたはDを押していずれかを選択します。12時間制表示のときは「A」(午前)または「P」(午後)マークで午前、午後が表示されます。

※コントラスト調整：液晶パネルのコントラスト(濃淡)を調整できます。一般的に低温環境では表示が薄くなる傾向にあります。状況と見やすさに応じて1(薄い)~7(濃い)の範囲で選択してください。システムリセットまたは電池交換後は初期状態である「5」になるので必要に応じて合わせ直してください。システムリセットについては「B システムリセットについて」31ページをご参照ください。

※全点灯表示:「時刻・カレンダー合わせ状態」で下図のような「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。ボタンCとボタンDが同時に押された状態です。その場合は、ボタンA、B、C、D、Eのいずれかを押し、「時刻・カレンダー表示」に戻してください。次にあらためて、操作①から行ってください。



⑤合わせ終わったら、ボタンAを押して時刻・カレンダー表示に戻して下さい。

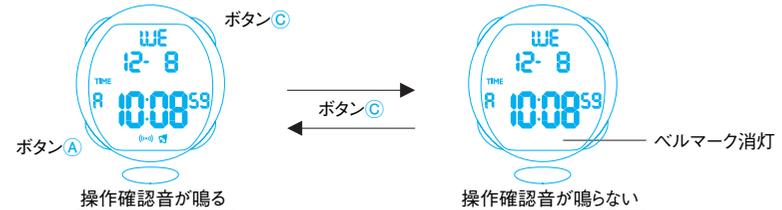
●ボタン操作確認音の設定について

- ・表示の切替え時やスタート/ストップなどのボタン操作の際に、操作確認音が鳴ります。
- ・不要な場合はその音を消すことができます。

※ボタン操作確認音を消しても、設定したアラーム時刻になった時やタイマーのタイムアップ時には音が鳴ります。

- ①ボタンAを押して「時刻・カレンダー表示」にしてください。
- ②ボタンCを押すごとに下記のように鳴る/鳴らないの設定ができます。

ベルマーク「 」が点灯/消灯します。

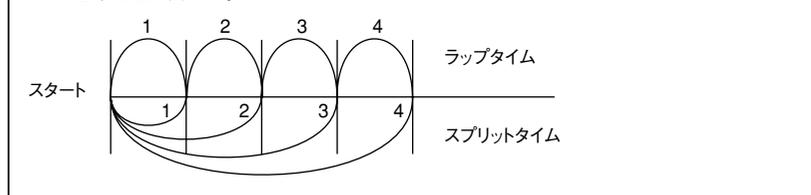


※「操作確認音が鳴る」設定を選択する際にはボタンCの操作で短音が届きます。

4 クロノグラフ (ストップウォッチ) 機能の使いかた

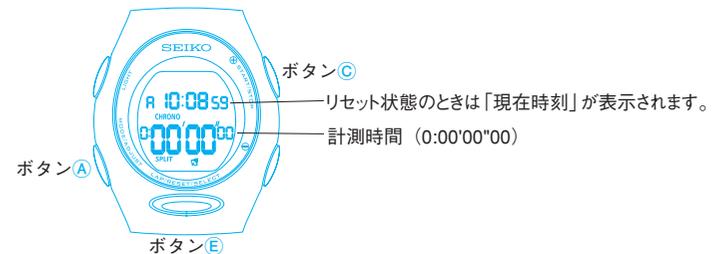
- ・1/100秒単位、10時間計です。10時間経過後は「0」（ゼロ）に戻って、計測を続けます。
- ・ラップタイム/スプリットタイム/ラップ番号を同時に表示します。
- ・ラップタイムを計測すると、約10秒間計測結果を表示し、その後計測中の表示に切り替えます。
- ・計測したラップタイム/スプリットタイム記録は最大100個まで記憶し、計測後はもちろん計測中でも「データリコール表示」で呼び出すことができます。→ 詳しくは「6 データリコール機能の使いかた」17ページをご参照ください。

ラップタイムは、区間ごとの経過時間であり、スプリットタイムは、スタートからある区間までの途中経過時間です。



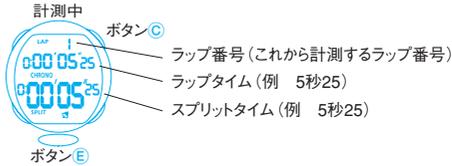
●基本的なボタン操作と表示内容について

- ①ボタンAを押して「クロノグラフ表示」にしてください。
- 「クロノグラフ表示 (リセット状態)」



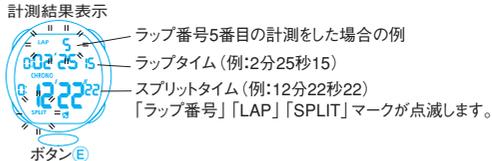
- ※使う前に必ず計測時間を0:00'00"00にリセットしてください。
(リセット状態のときは、上段が現在時刻表示になりますのでご確認ください。)
- ・ストップウォッチが動いている時は、ボタンCでストップ、ボタンEでリセット。
 - ・ストップウォッチが止まっている時は、ボタンEでリセット。

② ボタンCを押すと、計測がスタートします。



※計測中にボタンAで他の表示に切り替えても、計測は継続します。

③ スタート後にボタンEを押すとラップタイム/スプリットタイムが計測できます。ラップタイム/スプリットタイム計測後、約10秒間は計測結果を表示します。その後は自動的に計測中の表示に切り替ります。

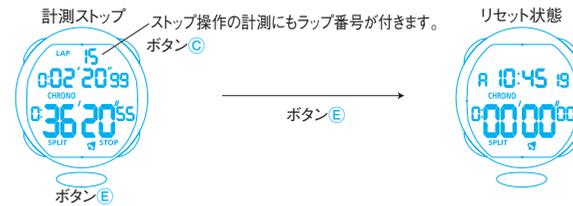


※ラップ番号は最大199まで表示します。以降は00,01,02・・・となります。

※この表示の状態では次のラップタイム/スプリットタイムを計測すると、新しく計測した結果を表示します。

14

④ 計測の終了はボタンCでストップ操作後、ボタンEを押してリセットします。



※ストップ操作後、リセットを行わずボタンCで再スタートするとタイムは最後のラップ番号の計測結果に積算されます。

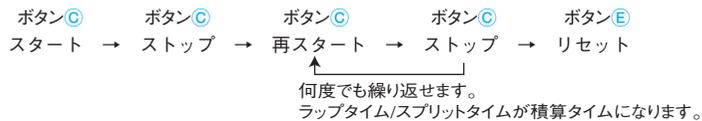
- 計測中に「FULL (フル)」マークが点灯したら
 - ・ラップタイム/スプリットタイムの計測が100回を越えると、「FULL」マークが点灯します。
 - ・「FULL」マークが点灯した後も計測は可能ですが、メモリーは残りません。「データリコール機能」で呼び出せるのは、最大100回までです。



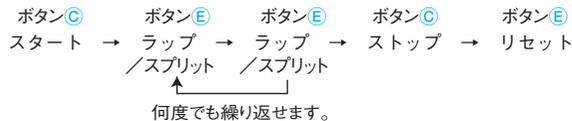
15

5 データリコール (計測記録呼び出し) 機能の使いかた

● 普通の使いかた (積算タイムを測る)



● ラップタイム/スプリットタイムの測りかた



ボタンEを押すごとに約10秒間表示が止まりラップ番号、ラップタイム/スプリットタイムを表示します。

※ラップタイム/スプリットタイムは、計測後約10秒間だけ表示します。その間に次の計測があると、ただちにその計測結果をまた約10秒間表示します。

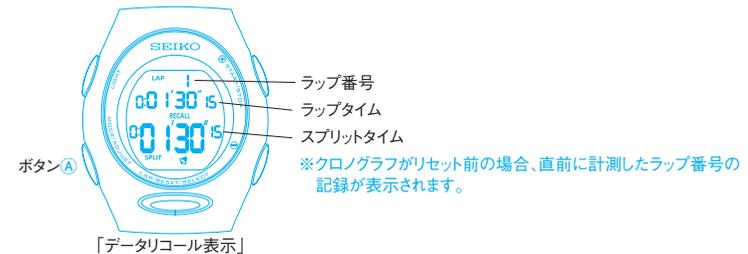
※計測時間が連続10時間を越えた場合は、「0」に戻って計測が続きますが、時相表示が1桁だけなので、表示内容が10時間台か20時間台かなどの読み取りはできません。

16

- ・クロノグラフ機能で計測した記録を呼び出して見ることができます。
- ・最大100回までのラップタイム/スプリットタイムの計測記録が呼び出せます。

クロノグラフの機能でリセット後に次の計測を開始すると、メモリー内の記録は全て消去されます。保存が必要な記録の場合は紙にメモをとるなど、記録保存の手段をとった上で次の計測を開始するよう十分ご注意ください。

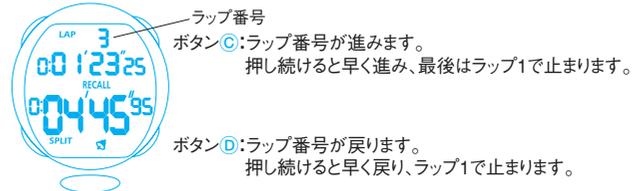
① ボタンAを押して「データリコール表示」にしてください。



17

6 ダブルリポートタイマーの使いかた

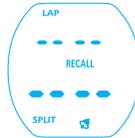
② ボタンCまたはボタンDを押して、計測記録を呼び出します。



※最後のラップ記録を表示した状態で、ボタンCを押すとラップ1が表示されます。
また、ラップ1を表示した状態で、ボタンDを押すと最後のラップが表示されます。
※クロノグラフ計測中でも、この操作により最新の計測記録までの表示が可能です。

③ データの呼び出しが終わったら、ボタンAを押して、必要に応じた機能表示に切り替えてください。

●ラップタイム/スプリットタイムを一度も計測していない場合の表示
計測記録が無い場合、右図の表示になります。
ご購入直後、または、クロノグラフをリセットして計測を開始した後、一度もラップタイム/スプリットタイムを計測していない場合にこの表示になります。



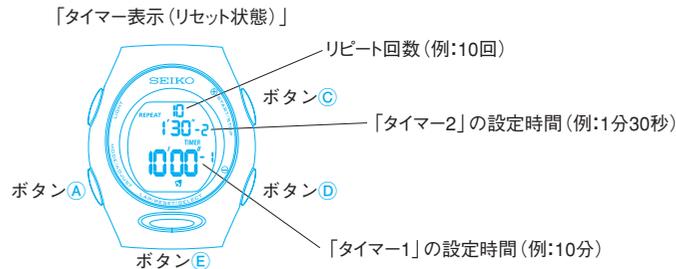
18

- ・「タイマー1」と「タイマー2」にそれぞれ10秒～9時間59分59秒の範囲で1秒単位での設定が可能です。
- ・「タイマー1」と「タイマー2」に異なる時間を設定し、「タイマー1」→「タイマー2」の順番で連続作動させることができますので、反復練習などのときに便利です。
- ・「タイマー1」と「タイマー2」を1セットとして、1回～100回または「制限なし」の繰り返し回数の設定ができます。
- ・一度セットしたタイマーは記憶されますので、その後は設定せずに使えます。
- ・計測時間（残時間）は1秒単位で表示し、終了3秒前からの予告音とタイムアップ時の終了音（約5秒間）が鳴ります。予告音および終了音は、タイマー1と2で異なります。

19

●タイマー時間の設定のしかた

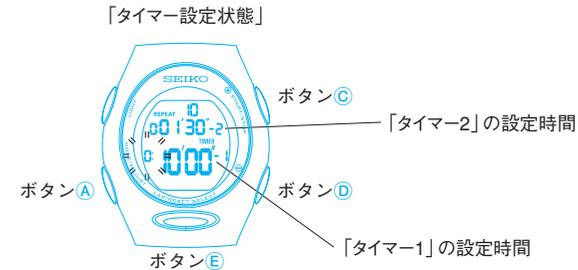
① ボタンAを押して「タイマー表示（リセット状態）」にしてください。



※タイマー時間の設定はタイマー機能がリセットされている状態で行います。
・タイマーが動いている時は、ボタンCでストップ、ボタンEでリセット
・タイマーが止まっている時（右下にSTOPマークが出ているとき）は、ボタンEでリセット

20

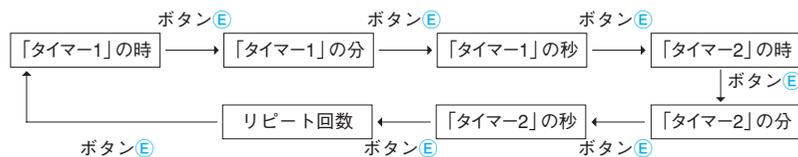
② ボタンAを約2秒間押し続けて「タイマー設定状態」にしてください。
「タイマー1」の設定時間の「時」が点滅します。



※この状態で1～2分間操作をしないと自動的に「タイマー表示（リセット状態）」に戻ります。

21

③ ボタンEを押すごとに点滅箇所が下図の順番で切り替ります。



④ ボタンC（またはボタンD）を押して合わせます。1回押すごとに点滅している箇所の数値が1ずつ進み（または戻り）ます。押し続けると早く進み（または戻り）ます。

「時」：0～9時間の範囲から選択。

「分」：0～59分の範囲から選択。

「秒」：0～59秒の範囲から選択。ただし、「0時間0分1秒」から「0時間0分9秒」が設定されると、自動的に「0時間0分10秒」に切り替ります。

※「0時間0分0秒」の設定も可能ですが、タイマーは動作しません。

例：「タイマー1＝10分」、「タイマー2＝0時間0分0秒」を設定すると「タイマー1」のみの「10分タイマー」として作動します。

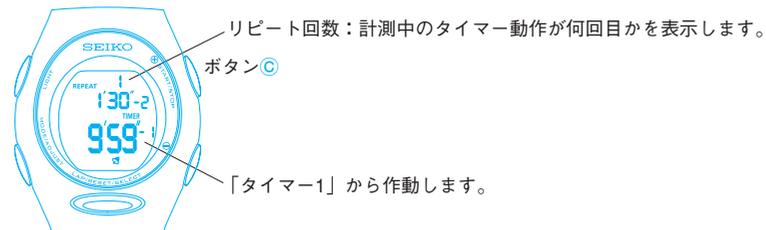
「リピート回数」：1～100の範囲から選択。「--」を選択すると「制限なし」の設定になります。

ボタンCとボタンDを同時に押すと、「タイマー1」と「タイマー2」の設定時間が共に「0秒」に、リピート回数は1回に設定されます。

⑤ 合わせ終わったら、ボタンAを押して「タイマー表示（リセット状態）」に戻してください。

●ダブルリピードタイマー機能の使いかた

① ボタンCを押すとタイマーがスタートします。



② 「タイマー1」のタイムアップ3秒前から予告音が鳴り、タイムアップ時には「タイマー1終了音」が約5秒間鳴ります。「タイマー1」のタイムアップと同時に「タイマー2」が作動を開始します。



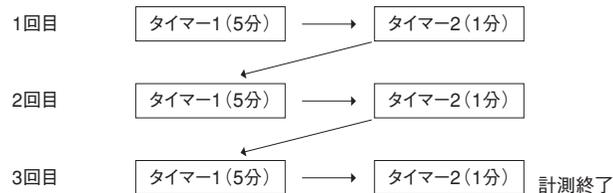
※鳴っている予告音や終了音を途中で止めるには、ボタンA、B、C、D、Eのいずれかを押してください。この鳴り止め操作はどの表示でも可能です。予告音が鳴っている間に鳴り止め操作をすると終了音も鳴りません。

※予告音や終了音が鳴っている間にボタンCでストップ操作を行なった場合、「鳴り止め」が優先して機能しますので、もう一度ボタンCを押してストップ操作をしてください。

※計測中にボタンAで他の表示に切り替えても、タイマーは作動し続けます。

③ 「タイマー2」のタイムアップ3秒前から予告音が鳴り、タイムアップ時には「タイマー2終了音」が約5秒間鳴ります。リピート回数に「2回」以上の数値が入っている場合には、続いて「タイマー1」が作動します。（下図参照）

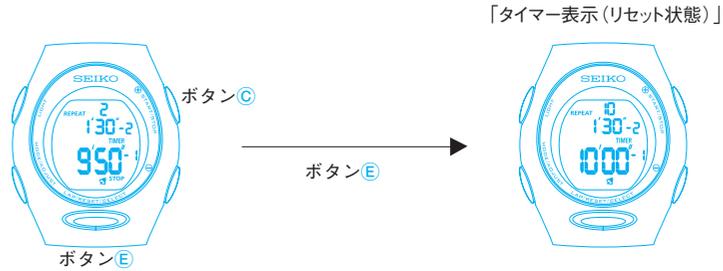
例）タイマー1＝5分、タイマー2＝1分、リピート回数3回を設定した場合



※それぞれのタイマーごとに予告音と終了音が鳴りますので、上記の例では合計6回鳴ります。途中で鳴り止めの操作を行っても次のタイマーの予告音と終了音は鳴ります。

7 アラームの使いかた

- ④途中でタイマーを止めるにはボタンCを押します。再スタートもボタンCで行ないます。ストップ状態でボタンEを押すとリセットされます。



- ※ボタンCによるストップ/再スタートは何回でもできます。
 ※リピート回数を不必要に多く設定しスタート後に放置された場合など、予告音や終了音が繰り返し鳴ることで電池寿命が早く切れてしまうことにつながりますので、ストップ操作忘れには十分ご注意ください。

26

- ・1日(24時間)に1回鳴るアラーム機能です。
- ・アラーム音の試し聴きができます。

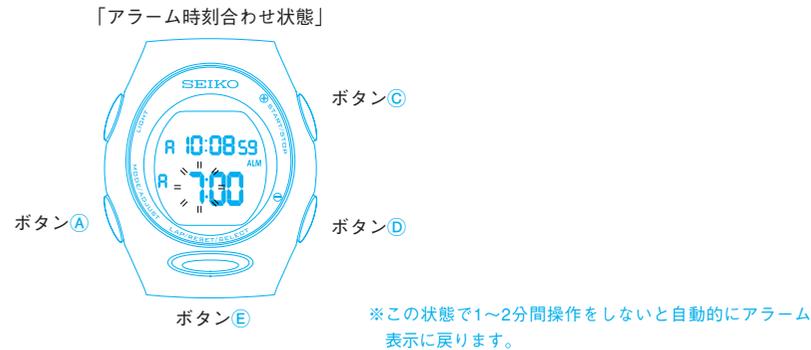
●アラーム時刻の合わせかた

- ①ボタンAを押して「アラーム表示」にしてください。



27

- ②ボタンAを1~2秒押し続けて「アラーム時刻合わせ状態」にしてください。
 アラーム設定時刻の「時」桁が点滅します。



28

- ③ボタンEを押すごとにアラーム設定時刻の「時」・「分」が交互に点滅します。



- ④ボタンCまたはDを押して合わせます。ボタンCを1回押すごとに点滅している箇所の数字が1つずつ進みます。押し続けると早く進みます。ボタンDを押すごとに点滅している箇所の数字が1つずつ戻ります。押し続けると早く戻ります。

※「時」を合わせるときは、午前・午後をよく確認してください。

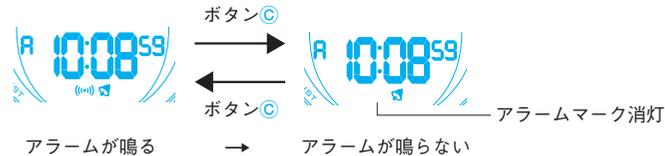
- ⑤合わせ終わったらボタンAを押してアラーム表示に戻してください。

※アラームが鳴らない設定の場合でも、アラーム時刻合わせに入り、アラーム表示に戻ることによって自動的にアラームが鳴る設定になり、アラームマーク(☾)が点灯します。

29

8 システムリセットについて

- アラームを鳴らす／鳴らさないの設定方法
アラーム表示でボタンCを押すごとに「鳴る／鳴らない」の設定ができます。
アラームマーク「(A)」が点灯／消灯します。



- 鳴っているアラームを止めるには
アラーム設定時刻になると約20秒間アラーム音が鳴り続けます。鳴っているアラームを途中で止める場合は、ボタンA、B、C、D、Eいずれかを押ししてください。
※どの表示の時でも、この操作は可能です。
- アラーム音の試し聴き
アラーム音を試し聴きたい時は、「時刻・カレンダー表示」において、ボタンCとDを同時に2～3秒以上押し続けてください。押し続けている間アラーム音が鳴ります。

30

万一異常な表示（読めない表示など）になった場合、以下の操作を行ってください。時計内部のシステムがリセットされ、正常に機能するようになります。

- システムリセットのしかた
ボタンA、B、C、D、Eの5つのボタンを同時に2～3秒間押すと一旦表示が消え、ボタンを離した後、「2006年1月1日 日曜日 午前12時00分00秒 12時間制表示、コントラスト＝5、クロノグラフのメモリーデータなし、操作確認音あり、アラーム設定なし」の状態（初期設定状態）になります。
※システムリセット後は、日付・時刻合わせが必要となりますのでご注意ください。

31

9 内部照明（EL）機能について

- ・内部照明として使用されているエレクトロルミネッセンス（EL）パネルは、電池の電圧が低くなると、輝度（明るさ）が低下します。また、ELパネルは発光時間の経過と共に、徐々に輝度が減衰する特性を持っています。
※ELパネルの輝度は、点灯時間の累積で約120時間経過すると半減します。ご使用中に内部照明が暗くなったときは、まず、電池を新しいものに交換してください。電池を交換しても暗すぎる場合は、ELパネルの交換となります。お買い上げ店に交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

10 液晶パネルの交換

この時計の液晶パネルは、7年を過ぎますと、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。お買い上げ店に交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

32

11 電池についてのお願いとご注意

電池について

- (1) 電池寿命
この時計は新しい正常な電池を組み込んだ場合、その後約2年間作動します。
・アラームの鳴音は1日20秒以内の使用、内部照明（EL）の点灯は1日1回、クロノグラフ機能の使用は1日3時間をそれぞれ基準としていますので、それ以上使用した場合は上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れる場合があります。
- (2) 最初の電池
お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れることがありますのでご了承ください。
- (3) 電池交換
①電池交換は、必ずお買い上げ店または、セイコー取扱店で「セイコー純正SB」とご指名の上、ご用命ください。
②電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
③電池交換は、保証期間内でも有料になります。
④電池交換等で裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能にあった防水検査をご依頼ください。

33

12 ご使用上の注意

(4) 電池寿命切れ予告機能

- ※  マークが点灯したら、約2～3週間で電池寿命が切れる可能性があります。
また、 マークが点滅になると、電池寿命切れが間近であることを示しています。
お早めにお買い上げ店、またはセイコー取扱店で電池交換をご依頼ください。
- ※  マークが点灯あるいは点滅すると内部照明（EL）機能が使えなくなりますが故障ではありません。

34

防水性能

日常生活用強化防水（10気圧防水）ですので雨天時や水泳などのスポーツ時でもご使用いただけます。

⚠ 警告

この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないで下さい
BAR（気圧）表示防水時計はスキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要とされる苛酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバースウォッチをご使用下さい。

⚠ 注意

- ※時計内部にも多少の湿気がありますので、外気の温度が時計内部より低い時、ガラス面にくもりがでる場合があります。くもりが一時的なものの場合、支障はありませんが、長時間消えない時は、お買い上げ店にご相談ください。
- ※水分がついたままボタンの操作をしないでください。時計内部に水分が入る場合があります。
- ※水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けて下さい。
防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化や、ステンレスが錆びることにより、防水不良になる恐れがあります。
- ※入浴やサウナの際はご使用を避けてください。
蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めてしまうからです。
- ※直接蛇口から水をかけることは避けてください。
水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になる恐れがあります。

35

日常のお手入れについて

- ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとしびて衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので常に清潔にしてご使用ください。
- 本商品をはずしたときは、柔らかい布などで水分をふき取るだけで、汚れや、ケース・バンド及びパッキンの寿命が違ってきます。
- ウレタンバンド等軟質プラスチックでできているバンドは、特に手入れの必要はありませんが、汚れがひどいときには石鹸水で洗ってください。化学製品ですので、溶剤によって変質することがあります。
通常数年のご使用で材質が硬化してきたり、色があせたりする場合がありますので、その際は新しいバンドに交換してください。

かぶれやアレルギーについて

- バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
- かぶれやすい体質の人や、体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
- かぶれの原因として考えられるのは、
 - ①金属・皮革に対するアレルギー
 - ②本体やバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗などです。
- 万一肌などに異常が生じた場合は、直ちに使用を中止し、医師にご相談ください。

36

保管について



- × 「-5℃～+50℃からはずれた温度」下では、機能が低下したり、停止する場合があります。
※この時計は常温（5℃～35℃の範囲内）において安定した精度を得られるように調整してあります。よって、温度によって多少の進み遅れが生ずることがありますが、常温にもどればもとの精度にもどります。
- × 磁気や静電気の影響があるところに放置しないでください。
- × 強い振動のあるところに放置しないでください。
- × 極端にホコリの多いところに放置しないでください。
- × 薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。
（薬品の例：ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、およびそれらを含むもの（ガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ用洗剤、接着剤など）、水銀、ヨウ素系消毒液など）
・温泉や防虫剤の入ったびきだしなど特殊な環境に放置しないでください。

定期点検について

- ・ながくご愛用いただくために、2～3年に一度程度の点検調整をおすすめします。定期的な点検により目に見えない部分が原因となる損傷を未然に防ぎ、より安心してご使用いただけます。保油状態・漏液の有無・汗や水や水分の侵入などをお買い上げ店で点検をご依頼ください。点検の結果によっては分解掃除を必要とする場合があります。

37

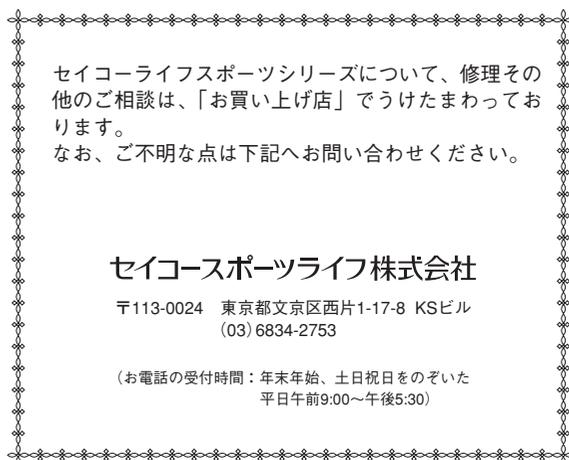
13 補修用性能部品について

- ・この時計の補修用性能部品の保有期間は通常7年間を基準としています。正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理可能です。
(補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに不可欠な修理用部品です。)
- ・修理可能な期間はご使用条件によりいちじるしく異なり、精度が元通りにならない場合もありますので、修理ご依頼の際にお買上げ店とよくご相談ください。
- ・修理のとき、代替品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。

14 アフターサービスについて

- ・万一故障した場合には、お買上げ店にお持ちください。保証期間内の場合は保証書を添えてください。
- ・修理期間経過後の修理およびこの時計についてのご相談はお買上げ店でうけたまわっております。なお、ご不明の点はセイコースポーツライフ株式会社へお問い合わせください。
- ・保証内容は保証書に記載したとおりですので、よくお読みいただき大切に保管してください。

38



40

15 製品仕様

1. 水晶振動数 ・ ・ ・ ・ ・ 32,768Hz (Hz=1秒間の振動数)
2. 精度 ・ ・ ・ ・ ・ 平均月差±30秒 (気温5℃～35℃において腕につけた場合)
3. 作動温度範囲 ・ ・ ・ ・ ・ -5℃～+50℃ ただし表示機能は0℃～+50℃
4. 表示体 ・ ・ ・ ・ ・ FE (電界効果) 型ネマチック液晶
5. 使用電池 ・ ・ ・ ・ ・ 小型リチウム電池 SB-T11 (CR2016) : 1個
6. 電池寿命 ・ ・ ・ ・ ・ 約2年
7. 内部照明 ・ ・ ・ ・ ・ EL (エレクトロルミネッセンス)
8. 電子回路 ・ ・ ・ ・ ・ C-MOS-LSI 2個

※上記の製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

39

無料修理規定

1. お買上げ後1年間の保証期間内に取扱説明書にそった正常な使用状態で故障した場合には、この保証書を添えてお買上げ店にご依頼ください。無料で修理・調整いたします。
2. 保証の対象部分 時計本体 (バンドは対象外です。)
3. 保証期間内あるいは保証対象部品であっても次の場合は有料修理になります。
 - 1) 電池交換 (取扱説明書をお読みください。)
 - 2) 誤ったご使用や、不注意による故障・損傷、および不当な修理や改造による故障・損傷
 - 3) 火災・水害または地震などの天災地変による故障・損傷
 - 4) ご使用により生じる外観上の変化 (ケース・ガラス・バンドの小キズなど)
 - 5) 本書に販売店名およびお買上げ月日の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 6) 本書のご提示がない場合
4. 保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は弊社にお問い合わせください。
5. 修理の際、ケース・ガラス・バンドなどは一部代替品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。
6. 修理用部品の保有期間や修理できる期間などについては取扱説明書をご参照ください。
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
お客様情報につきましては、アフターサービス目的にのみ使用いたします。